

(総合型選抜Ⅱ)

令和3年度入学試験問題

小論文

(教育学部 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙1枚と下書き用紙1枚を別に配布してあるので確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答は、原稿用紙の正しい使い方に従い、文字や仮名遣いなどを正しく書くこと。また、漢字を適切に使うこと。
6. 解答用紙の指定された欄に、学部名及び受験番号を記入すること。
7. 配布された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配布された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

問題

資料を読み、以下の問いに答えなさい。

問い：資料の内容を 300 字程度で要約したうえで、現代において必要な読解力とは何か、それを小学生のうちからどのように子どもに育ませていくことができるのか、あなたの考えを、要約の文字数を含め全体で 800 字(25 字×32 行) 以内で述べなさい。

資料

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

出典：佐伯啓思「(異論のススメ スペシャル) 社会が失う国語力」, 朝日新聞
2019年12月28日付 (一部改変して引用)

以下の注は出題者による。

注

- 1 2018年3月に高等学校の新学習指導要領が告示された。2019年度から2021年度にかけての移行措置期間を経て、2022年度からすべての高等学校において実施されることになる。その新学習指導要領において、国語科で情報を的確に理解し、効果的に表現する力の育成や、各教科などでの自らの考えを表現して議論したり、観察や調査などの過程と結果を整理し、報告書にまとめたりするなどの内容を教えるために、「現代の国語」と「言語文化」を共通必修科目とし、「論理国語」、「文学国語」、「国語表現」、「古典探究」を選択科目として設置することになった。
- 2 PC（ポリティカル・コレクトネス） — 人種・宗教・性別などの違いによる偏見・差別を含まない、中立的な表現や用語を用いること。（デジタル大辞泉）
例えば人種的な観点から「肌色」を「うすだいたい」と呼び変えたり、ジェンダー的な観点から「看護婦」を「看護師」と呼び変えたりするようになったことがこれにあたる。